

# 夕刊三重

## 名は「ちゃぶちゃぶ水場」

飯高駅裏の川遊び場 台風で荒れ再整備、看板も



松阪市 飯高町宮前地区の宮前まちづくり協議会(田中裕児会長、約700軒)は、18日午前8時から、昨年の台風で荒れてしまった飯高町宮前の道の駅飯高駅裏手の川遊び場を整備し直した。合わせて、地域の子供たちから募集して決めた名称「いいたか ちゃぶちゃぶ水場」の看板を設置した。

水遊び場は、飯高駅芝生広場に遊具が設置されたのに併せて同協議会が昨年6月に設けた。昔洗濯に利用していた櫛田川に流れ込む湧き水を使うため、地元の保育園児や来訪客に喜ばれていた。ところが、昨年9月の台風で、十数年来無かったほど櫛田川の水位が増し、子供たちが足をけが

しないようにと水場に敷いた砂利が流れたり、進入路のコンクリートが剝がれるなど荒れてしまっ

た。そこで、本格的な夏の到来を前に組長ら25人がボランティアで整備し直した。地元



子供たちのアイデアを元に決めた「いいたか ちゃぶちゃぶ水場」の看板と整備した住民ら。降りた所に川遊び場がある＝飯高町宮前で

(尾鍋哲也代表取締役)が重機で砂利を運び、住民らがスコップでならした。名称は、昨年度地元の保育園と小中学校から募集。計92人から応募があり、いずれも当時飯高町1年の、阪口舞音さんと橋本和歩さんの案を元に決めた。看板はかわいいイラスト付きで、道の駅駐車場に設置した。

田中会長は「地域振興ということで、住民や地元企業にボランティアで作業してもらった。ぜひ子供連れで遊びに来てほしい」と呼び掛けている。